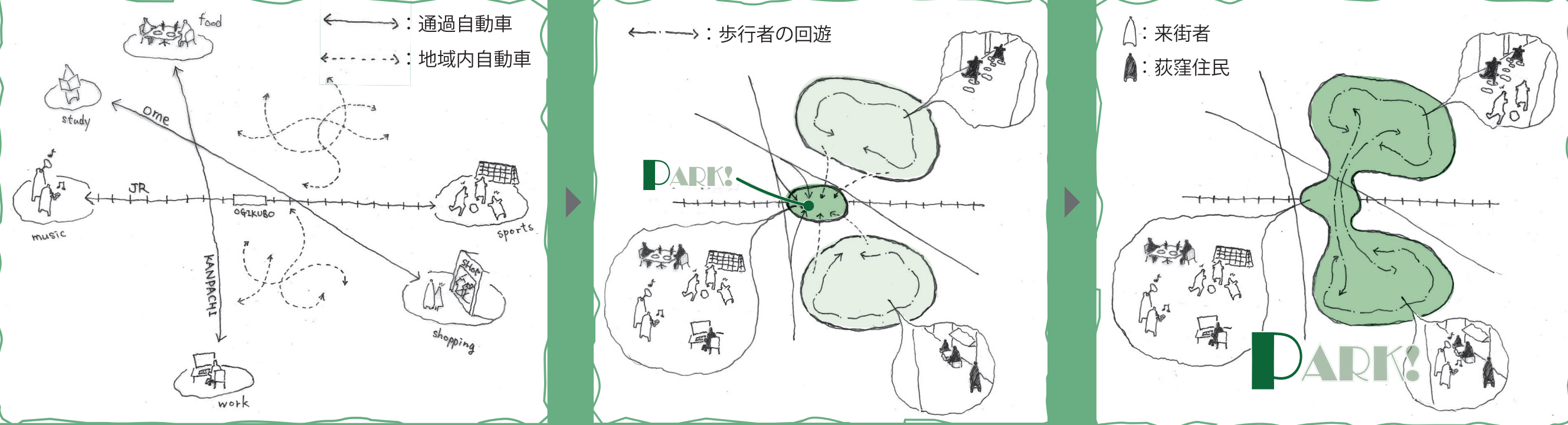


PARKが、おぎくぼのまちを変える

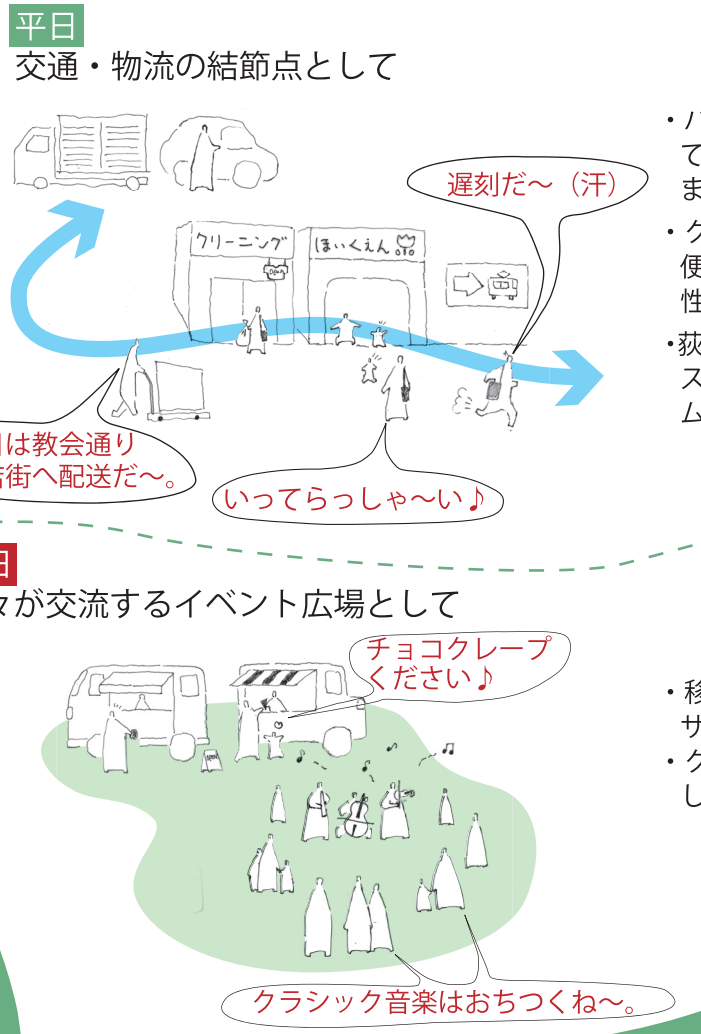


12万人が駅を利用し、10万台の自動車が通過する荻窪。彼らは、それぞれの目的地で、多様な活動を行っています。一方、生活の場であるまちなかでは、商店の荷捌き車両などが生活道路を狭めています。

大きなPARKをつくります。通過していた自動車を呼び込むことで来街者が増え、PARKを拠点に多様な活動が展開され始めます。また、まちなかの自動車をPARKに収容することで、生活道路はひとが安心して使える空間になります。

PARKでの活動がひと中心の空間に参み出し、来街者と住民と一緒に楽しむ豊かなまちづくりが始まります。荻窪のまちが、まるで大きな広場のように、人々に使われるようになります。

収容台数1,500台！！ コアパークの 魅力



平日
交通・物流の結節点として

- ・パーク & ライド優先割引駐車場として位置づけ、公共交通利用を促進します。
- ・クリーニングや保育園など、生活に便利な施設を配置し、通勤時に利便性を高めます。
- ・荻窪地区の共同配送（荷捌き）スペースを確保し、物流のプラットフォームとなります。

休日
人々が交流するイベント広場として

- ・移動販売車が車を停め、市民にサービスを提供できます。
- ・クラシック音楽祭など、荻窪らしいイベントが開催できます。

現状認識① 交通結節性

強み
課題

- ・駅 500m 圏の昼間人口 4 万人程度に対し、駅利用は 12 万人以上（乗車）
- ・駅利用者の 2 割以上がバス利用→駅アクセスが悪い停留所あり
- ・9000 人の駅利用者が自転車利用→駐輪場は 8000 台弱、駅周辺の商業施設利用を含めた駐輪場が不足
- ・500 人の駅利用者が車利用。荻窪駅以東では 100 人以下であり、境界点
- ・環八 55,000 台 /24h、青梅 40,000 台 /24h の自動車交通

現状認識② 個性

強み
課題

- ・「クラシックのまち」イメージが住民にも来訪者にも広がっていない
- ・商店街間・地域住民で連携した取組が乏しい
- ・商店街や生活道路は自動車通過が少なく、地域に密着した安心感あり公園や広場など、人が滞留して自由に過ごせる場所が少ない

現状認識③ 防災性

強み
課題

- ・阿佐ヶ谷・高円寺方面に広域避難場所（善福寺川緑地）へのアクセスが悪い地域あり
- ・青梅・環八が延焼防止帯となり、駅周辺は火災危険度が低い地震災害時、新宿方面からの帰宅困難者が青梅街道を利用し、バス拠点である荻窪を目指すことが想定
- ・環八と中央線の交差部周辺は 2m 程度の浸水可能性（過去にも浸水）

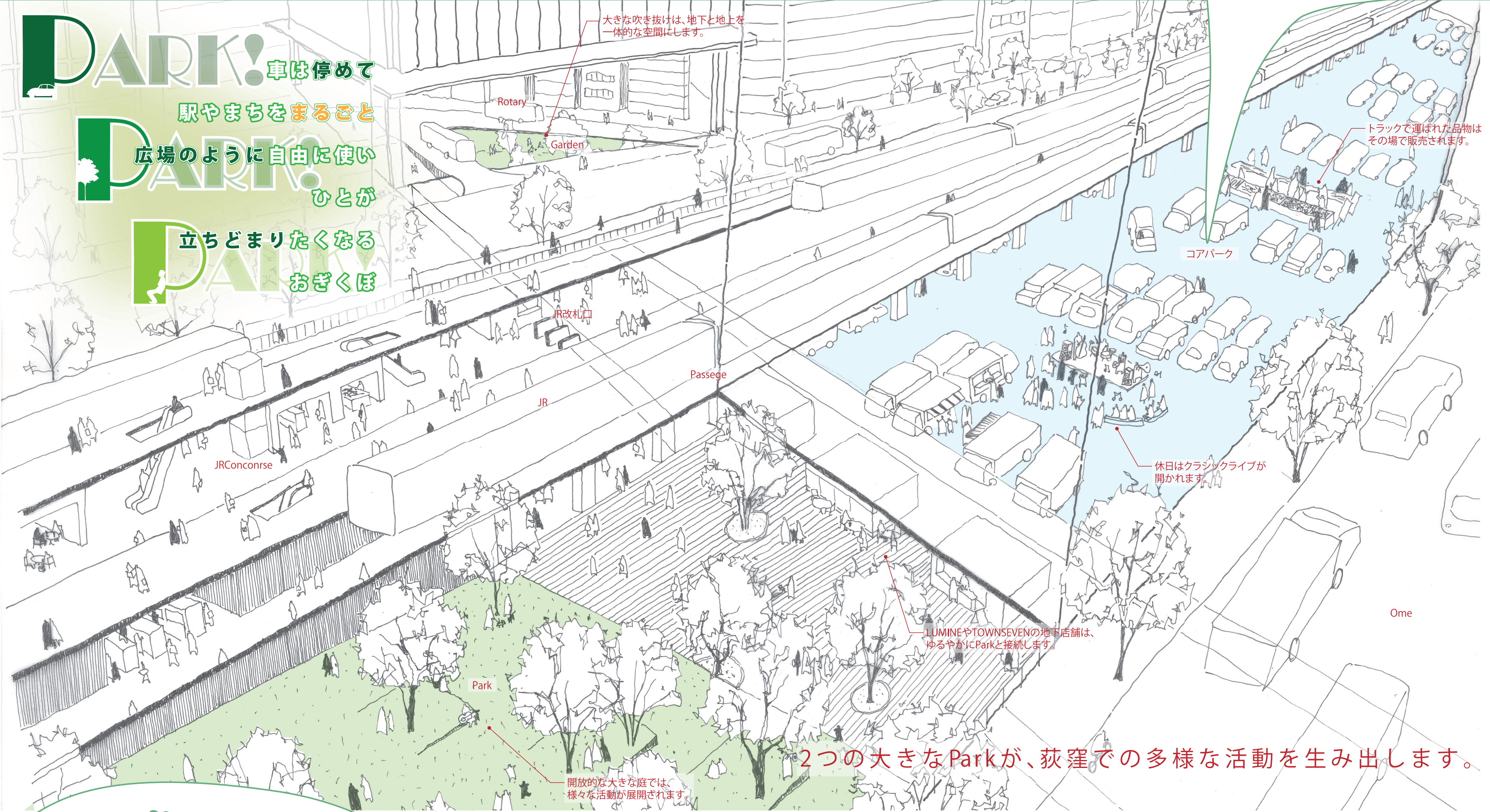
魅力ある地域づくりのための視点

- 1 商店街・生活道路から自動車・自転車を極力排除し、荻窪独自のコミュニティ道路網を形成
- 2 道路空間を中心に、沿道店舗や住宅を活用した
- 3 車の根型イベント等を日常的に実施

駅近にイベント拠点となるスペースを確保

防災力強化のための視点

- 1 「災害に強い荻窪」のブランドイメージ形成
- 2 線路沿いの地下に「洪水時遊水池」兼「地震時防災拠点」を形成
- 3 再開発による不燃性向上・備蓄協定



コアパークの 防災 機能

- 避難空間の確保
- 平常時はスポーツ広場利用（シャワー施設等完備）
- 日常利用することで、管理運営の事業化が可能
- PPP手法の活用

浸水想定箇所

地下調整池の確保

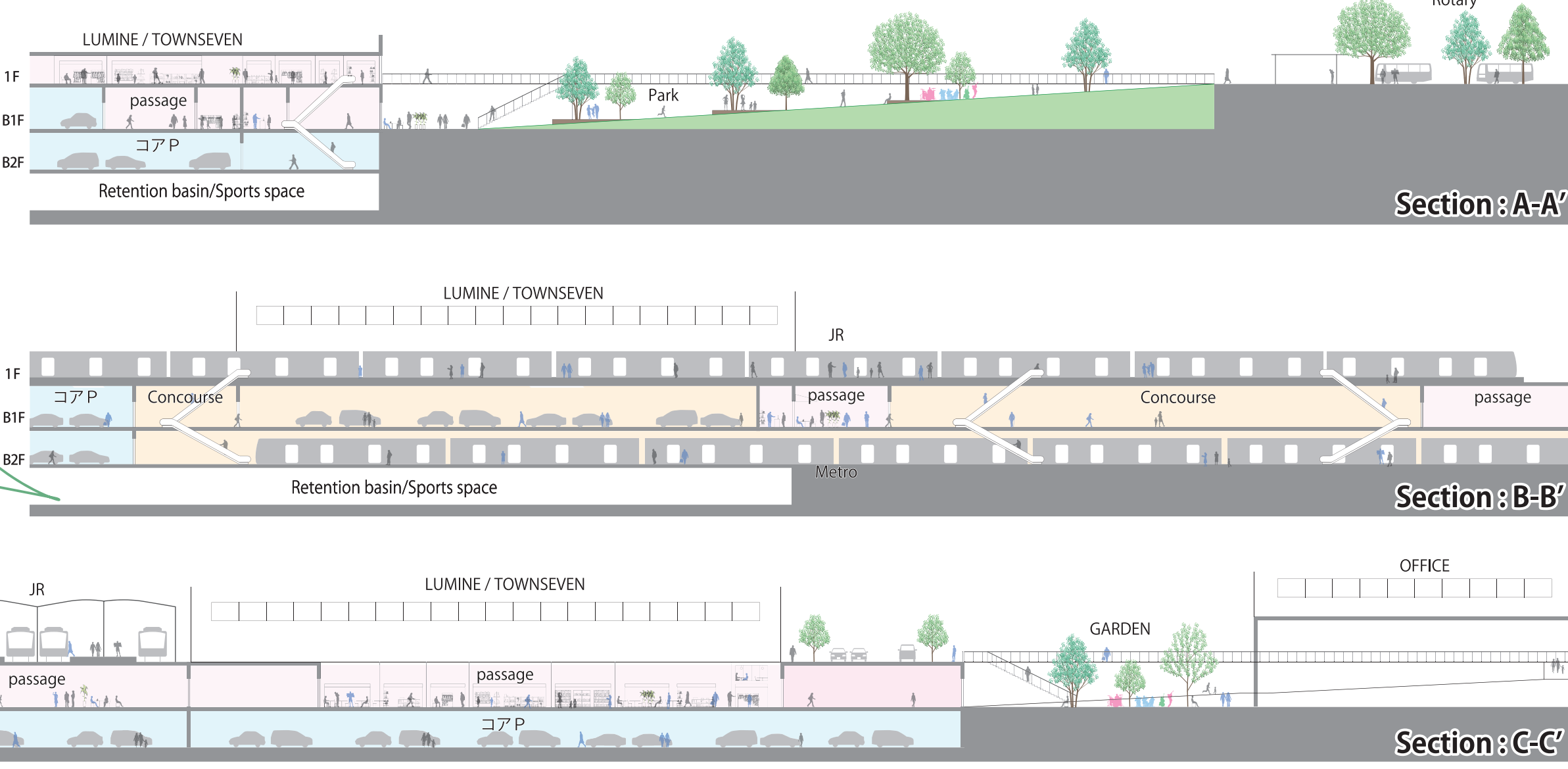
青梅街道を避難

火災危険度が高い地域

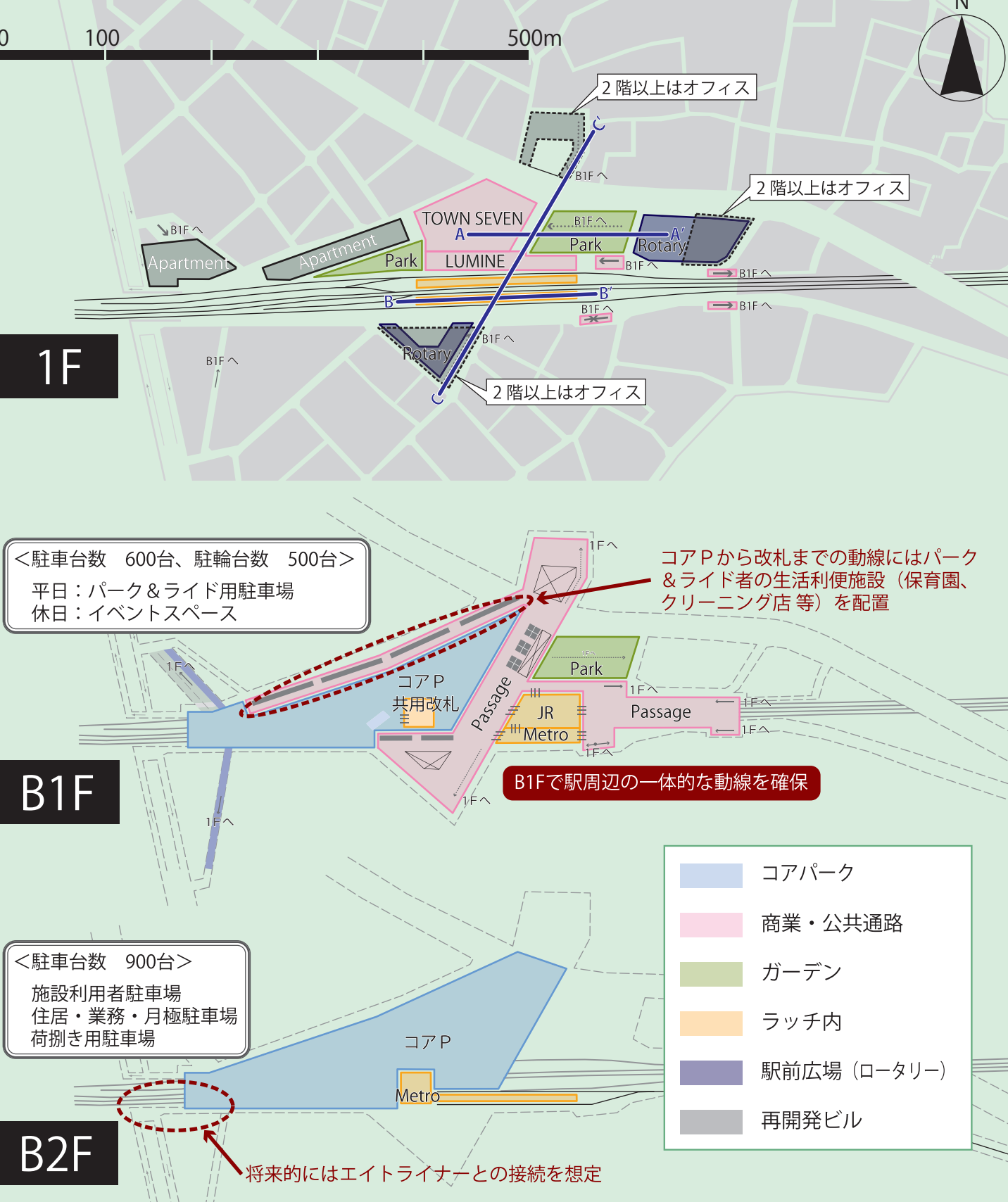
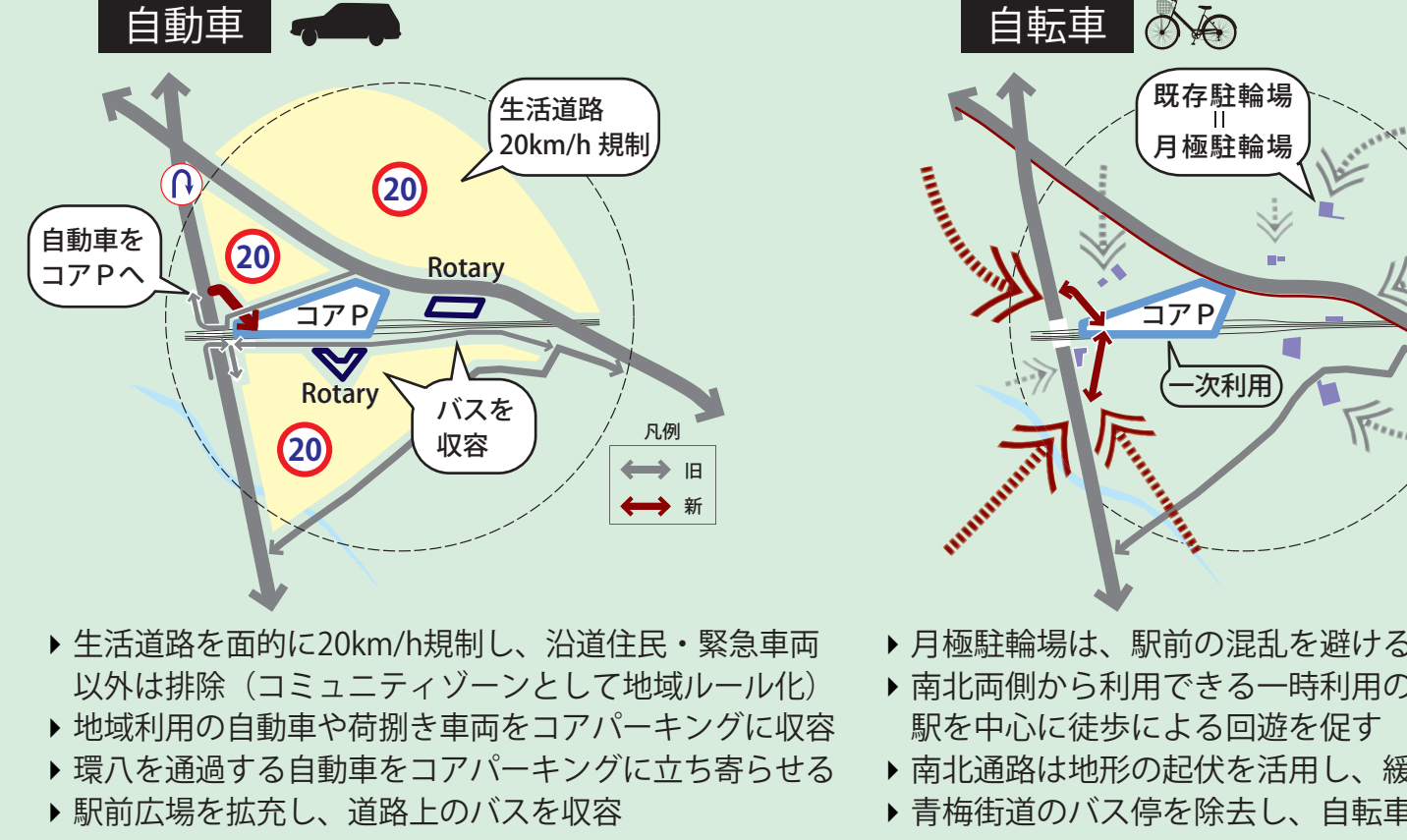
アクセス悪い

都心からの帰宅困難者

広域避難場所



コアパーク整備によるまちの変化



区民が進める まちなかまるごと広場

生活道路を交通規制（通行止・速度規制・一方通行等）し、緑化や沿道からの参み出し利用など、地域主体のエリアマネジメントによる柔軟な道路空間活用を図る

子どもたちの遊び場として

沿道店舗の参み出し（看板や商品など）

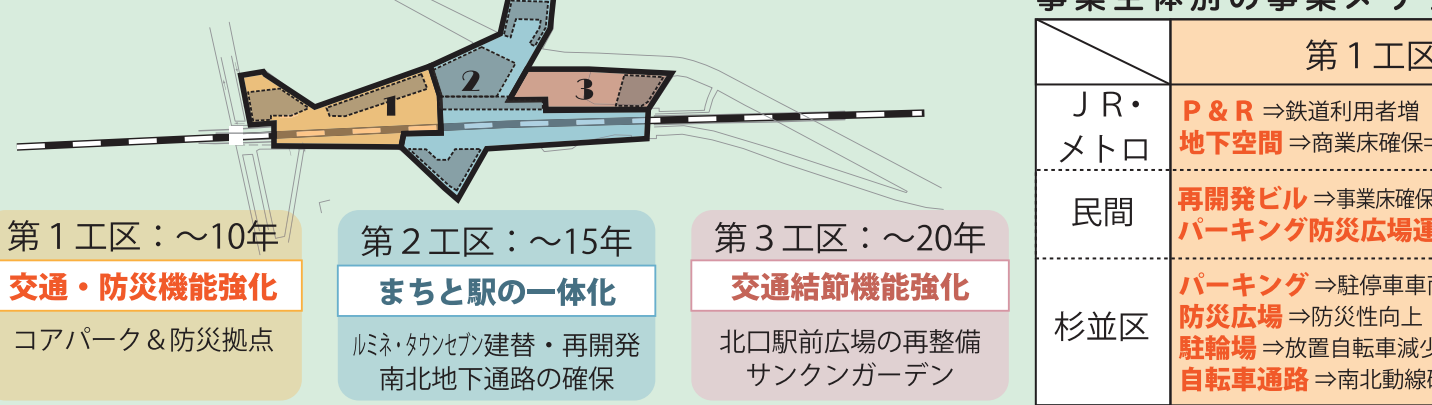
イベント「クラシックビールを飲みながらクラシック」

イベント「まちじゅうみちじゅうフリーマーケット」

区：道路整備（歩行者用舗装・緑化）、マネジメント支援

地域：維持管理、イベント時の占用等のルールづくり

再開発を中心とした実現へのステップ



事業主	第1工区	第2工区	第3工区
J.R・メトロ	P & R ⇒鉄道利用者増 地下空間 ⇒商業床確保⇒商業床拡充	コンコース改良 ⇒シームレス化による利用者増 地下空間 ⇒商業床拡充	北口改良 ⇒バス乗継円滑化
民間	再開発ビル ⇒事業床確保（2棟） パーキング防災広場運営 ⇒事業収入	再開発ビル ⇒事業床確保（4棟） コンコース改良 ⇒南北分断解消	再開発ビル ⇒事業床確保（1棟）
杉並区	パーキング ⇒駐車車両減少 防災広場 ⇒防災性向上 駐輪場 ⇒放置自転車減少 自転車道路 ⇒南北動線確保	北口駅前広場の再整備 サンクンガーデン	北口ロータリー ⇒バス乗継場確保 ⇒道路安全性向上 サンクンガーデン ⇒オープンスペース確保